

県央振興局

農林部だより Vol.30



発行

県央振興局農林部

諫早市永昌東町25-8

(長崎県県央振興局)

TEL 0957(22)0010

FAX 0957(22)6808



諫早農業高校生が JA ながさき県央繁殖牛改良能力共進会に出品



ごあいさつ

県央振興局農林部副部長
(中央家畜保健衛生所長)

岩永 俊一

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平成28年度に策定しました「新ながさき農林業・農山村活性化計画」もいよいよ最終年度となりますが、目標達成のため各種畜産振興施策を展開している中、その下支えの役割を担うのが家畜衛生対策です。重大な家畜伝染病はもとより、生産性を阻害する各疾病の発生予防や発生時の対策を講じることは畜産の振興を図る上で大変重要です。

一昨年来、中部地方を中心に豚の伝染病である「CSF(豚コレラ)」が発生し、これまで(令和元年12月18日時点)、1府8県の87農場4と畜場で併せて15万頭を超える豚が殺処分されるなど大きな被害が出ています。また、アジア諸国では「ASF(アフリカ豚コレラ)」というまた別の伝染病が猛威を振るい、昨年9月には隣国の韓国でも発生が確認されています。今のところ国内での発生はありませんが、発生のリスクは極めて高くなっています。さらには、鳥インフルエンザが流行する季節でもあり、様々な家畜伝染病が国内のどこで・いつ発生しても何ら不思議ではない状況となっています。このよう

な家畜伝染病がひとたび発生すると、畜産農家はもとより、関連産業や地域経済にも大きな影響が及びます。

県といたしましては、家畜保健衛生所の獣医師が個別に農場を訪ね、飼養衛生管理基準を遵守するためのアドバイスを行うなど発生予防対策を強化するとともに、万一発生があった場合には、初発事例で封じ込めを行うことができるよう、市町、関係団体や獣医師などを交えた防疫演習を行うなど、初動防疫態勢の強化に努めています。

家畜伝染病の発生予防対策並びに発生時の防疫対策、いずれも生産者や関係機関の皆様との連携が不可欠です。情報を密に共有しながら、家畜衛生対策を進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、令和4年10月に鹿児島県で開催される「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」の出品対策がいよいよ本格化しています。平成24年に本県で開催された「第10回同長崎大会」において獲得した「長崎和牛日本一」の称号を奪還すべく、肉牛の部の候補牛生産のための交配が昨年暮れから始まりました。長崎県の肉用牛振興のために、関係者が一体となって取り組むことが重要です。皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、今年一年が皆様方にとって飛躍の年となりますことをご祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。